



原 邦雄 さん

ほめ育グループ 代表。日本発の教育メソッド「ほめ育」を開発し、世界20カ国、のべ100万人に広めている。

ほめ育グループ代表である原邦雄さんによる熊本YMCA創立75周年記念講演会の内容を抜粋してご報告します。

YMCAがくれた素晴らしい時間

私は神戸YMCAの元メンバーでリーダーもしていました。引っ込み思案だった高校1年生の時、母に「YMCAのキャンプに行ってみたら」と言われて参加したのが始まりです。

参加したのは5泊6日のスキーキャンプ。メンバーは女性が50人で男子は5人だけ。女の子たちは積極的に話しかけてきますが私はタジタジです。ある時、ゲレンデでマナーの悪い男性客が私たちに雪をかけてきました。すると、ものすごく優しい「きみちゃん」という大学生の女性リーダーが「あぶないじゃないか」と男性を厳しく怒ったんです。「子どもたちを守ろうとしてくれているんだ」と感じた私は、リーダーのことが好きになりました。次第に女の子とも喋れるようになり、スキーも楽しい。「YMCAは、素晴らしい時間をくれた」と思ったことを覚えています。大学では夏に神戸YMCAの沼島キャンプでリーダーをしました。限られた時間ではありましたが、高校の時の恩を、子どもたちに「恩送り」したいという気持ちで4年間頑張りました。

私は今、「ほめ育」という教育メソッドをつくり世界に広めています。私が伝えたい言葉は「人はほめられるために生まれてきて、ほめ合うために存在する」です。今年9月には国連関係者に向けて講演をしました。私は「ほめ育の日をつくりませんか？いろいろな事情があるかもしれないけれど、10月19日を互いに認め合う記念日にして世界中で共有しませんか」と締めくくりました。

私たちは、ほめ合う為に存在する

方針と基準をもった教育

ほめ育は今年から熊本YMCA学院で一つの教科として導入されています。教育は子どもたちにとっての手本です。スキーキャンプできみちゃんが手本をみせてくれました。34年前の記憶が今も鮮明に残っています。子どもたちの記憶は一生残ります。だから相手を信頼して支援していくことが大切なのです。

ほめ育の3つのポイントは第1に「相手のことを知る」。知れば知るほど、私たちはほめるところだらけです。第2に「相手が大切にしていることを大切に」。自分が大切にしていることを、相手に押し付けられれば争いになります。価値観はそれぞれ違うもの。それを認め、大切にしましょう。自分自身のことも振り返ってみてはいかがでしょうか。皆さん日々、忙しいではありませんか？すると相手のことを知る時間がない、相手が大切にしているものも知らない、そして自分が大切にしてきたことすら、ぽっかりと穴が空いてしまっている。ですら自分を振り返るのです。自分をほめる程度にしか、相手をほめることができないものです。そして、第3に、言葉にして伝える。それがほめ育です。

ほめ育は、なんでもかんでもほめるということではありません。厳しいことも言います。皆さんは会社でも、家庭の中でも教育者でなければいけません。ですから教育方針が必要です。方針があって基準があります。ほめ育では「ほめる基準」と「しかる基準」を大切にしています。昔はそれぞれの家に家訓がありましたよね。ない方はお子さんも巻き込んで一緒に作ってみてもいいのではないのでしょうか。気分が悪いからしかる、気分がいいからほめるでは誰もついてきません。自分自身に基準を持ちましょう。

私たちはすでに成功者

私が今、世界の人に伝えたいのは、「地球人の行動指針に、『人は、ほめ合う為に存在する』ということを入れませんか？」ということ。子どもたちに「けんかをやめなさい」と言う大人たちがけんかをしていますよね。私は子どもの頃から「大人が手本を見せてよ」と思っていました。昔なら生意気なことを言うと思われたでしょう。今は50歳になり、少しだけ実績ができました。国連にはいろいろな国のトップの方もいらっしゃいます。でも国家間でけんかしている。子どもたちには「いじめをやめなさい」と言うけれど、「なんであなたたちに言われなきゃいけないの？」という子どもたちのメッセージを私は感じるのです。

私は相手を変化させようとは思いません。それぞれの事情があるでしょう。でも、私たち人間はものすごい確率で生まれてくるのです。宝くじが7回連続であたるくらいの確率なんだそうです。私たちは十分に勝ち組、十分に成功者です。それでもまだ貪欲でなければいけないのでしょうか。私たちはほめ合う日をつくったほうがいい。いろいろあったかもしれないけれど、時にはお互いをほめ合いませんか？そのような活動を継続していく、それが私の役割だと思っています。



講演会中、「ほめシート」を記入するワークショップが行われた

Pickup

熊本YMCA
 創立75周年
 記念式典特集



第1部記念礼拝



第2部記念式典



第4部祝賀・感謝会

これからも地域と共に 熊本YMCA創立75周年記念式典を開催



10月9日(月・祝)、熊本YMCA創立75周年記念式典を開催しました。

九州学院のブラウン・メモリアル・チャペルで行った第1部記念礼拝では日本福音ルーテル神水教会牧師の角本浩さんが奨励。続いて、熊本YMCA会長の吉本貞一郎さんが「私たち熊本YMCAはこれまで地域にとって最も良いと考えられる活動を行ってきたという自負があります。次の時代に向けても、世界を見つめながら、熊本の地で隣人に寄り添う活動を続けてまいります」と挨拶しました。第2部の式典では、熊本YMCA総主事の光永尚生さんが式辞を述べた後、熊本市副市長の深水政彦さん、日本YMCA同盟総主事の田口努さんから祝辞として、これからの熊本YMCAの活動への期待が語られました。

第3部講演会ではほめ育グループ代表である原邦雄さんが「私たちは、ほめ合う為に存在する」と題して講演。第4部の祝賀・感謝会はホテルメルパルク熊本で開催し、ルーテル学院中学・高等学校のハンドベル部による演奏がオープニングを飾りました。

式典には、韓国大邱YMCAからのゲスト4名も出席。大邱YMCAの理事長であるイ チュンギさんは「コロナ禍で中止されていた青少年のスポーツ交流や職員研修が再開されました。両YMCAの交流がさらに深まることを願っています」とメッセージを送りました。熊本YMCA学院日本語科の留学生によるダンスやキャンプソング合唱も行われ、最後に熊本YMCAの歌を合唱して和やかな雰囲気の中、閉会しました。



創世記12章2～4節

わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める。祝福の源となるように。あなたを祝福する人をわたしは祝福し、あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る。

アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。アブラムは、ハランを出発したとき七十五歳であった。

キリスト教の用語の中に、伝道という言葉と、宣教という言葉があります。伝道、これは、いのちの道であるイエス・キリストを伝えることです。宣教という場合、伝道も含みますが、それだけにとどまりません。イエス・キリストのみこころを行う、神の国を実現するために、力を合わせる。それが宣教です。YMCAもキリスト教会の宣教のひとつとして世界中で展開されているものです。

熊本YMCAは、その源流は熊本バンドにあります。その意味では、今年は、75周年ではなく、その倍近い147年です。いや、もとをただせば、イエス・キリストが地上においでになったことが始まりであるのですから、それは2023年目であるということになります。

神は、ご自身の働きをなすために、アブラムという人物をお選びになりました。のちに、多くの国民の父、と

熊本YMCA創立75周年記念礼拝説教抜粋 祝福をもたらすために



日本福音ルーテル神水教会 角本浩

いう意味から、アブラハムと名前が変わります。このアブラハムが、神に選ばれ、「さあ、私のみこころを行うために、出かけて行っておくれ」と送り出されるのですが、新約では、アブラハムは、「行く先も知らずに旅だつた」と表現します(ヘブライ書)。分かっていてるのは、神さまが「行け」とおっしゃったこと。そして、「祝福を届けて来なさい」「あなたが祝福の基となるのだ」といわれたことです。このアブラハムから42代数えたところに、ヨセフとマリアがおり、イエス・キリストがおいでになった、と聖書は伝えています。そして、そこから数えて2023年たった今、ここに75周年を迎えた熊本YMCAがあります。

なぜアブラハムは選ばれたのか、わかりません。なぜ、イギリスから始まったYMCAの働きが、海を渡って来たのか。なぜ熊本YMCAが生まれたのか。なぜ、熊本YMCAの働きのために、あなたが選ばれたのか。わかりません。でも、分かっていることがあります。それはすべて神さまのみこころだということ。そして、そのみこころとは、祝福をもたらすために出かけて行ってほしいという、この一点であることです。

これからも、熊本YMCAという器を用いて、神さまは、愛のみわざ、喜びのみわざ、希望を届けるのみわざ、平和のみわざを続けられます。その働きのために、選ばれた皆さん、おめでとうございます。これからもあなたが必要です。宣教のために、あなたが必要です。

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.22

総主事 光永 尚生



熊本YMCA創立75周年 記念礼拝、講演会、感謝会のお礼

熊本YMCAは、1948年にその歩みが開始されました。現在まで75年の時が流れ、延べ数十万人の皆様が、熊本YMCAの門をたたき、何かの働きに期待され、求められてきました。

私たちの熊本YMCAの働きの源流は、1876

年に、熊本駅近くの花岡山にて集った30数名の若者たちが、後に「熊本バンド」と呼ばれ、全国に散らばり、近代日本の礎をつくる働きを担ってきたことにさかのぼることもできます。熊本YMCAの歴史は、熊本バンドにさかのぼれば、全国のYMCAの黎明期に大きな役割を担ってきたことが垣間見えます。その若者たちは、水前寺公園近くに再建された、ジェーンズ邸の主である、キャプテンジェーンズの薫陶を受けて、全てを英語の授業で、全ての科目をキャプテンジェーンズからの指導を受けて学び、高度な学問と、崇高な理想を掲げて成長していきました。その中に、キリスト教の、「愛と奉仕の精神」が涵養されて、現在の熊本YMCAの働きに受け

継がれています。

熊本YMCAの使命の前文にある、「熊本YMCAは、熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願い、すべての人々がひとつとなるための働きを行います。」に通じています。

秋の夜長となりましたが、世界を見つめながら平和を願い、地域に生きるという、今の熊本YMCAの各法人での働きも、このスピリットから生み出されています。今ある戦争が終わり1日も早い平和の訪れと、平和を創り出す人たちが集う、YMCAでありたいと祈るばかりです。

R | E | P | O | R | T

チャリティ 楽しく社会貢献

熊本YMCAの各拠点では祭やチャリティプログラムを開催し、益金を国際協力、子どもたちの支援、地域活動に用いています。みなみセンターでは9月17日(日)にサザンフェスタ、ながみねファミリーセンターでは23日(土・祝)にながみね祭、むさしセンターは24日(日)に秋期チャリティプログラムを開催しました。

むさしセンターでは、会員や地域の皆さんに集まってもらおうと、プール開放とみの市の市を核に、教室や体育室でプログラムを行いました。みの市は

YMCA祭・チャリティプログラムを開催

開催1カ月前から寄贈品を展示。販売開始と同時に、お目当ての商品を買いに来る人や、掘り出し物を探す施設利用者で賑わいました。毎週実施している「日本語おしゃべりの会」に参加している台湾の皆さんによる台湾スイーツも販売。冬瓜を煮詰めて作ったドリンク「冬瓜茶」等の珍しいメニューに、来場者は興味津々。開始後1時間半で完売しました。

11月以降も各拠点でYMCA祭が予定されています。(同面下に関連情報)

ICR 大塚永幸



Information

行こう 見よう 深めよう

秋のYMCA祭を開催

楽しみながらチャリティに参加できるYMCA祭。11月は3拠点で開催します。

前進祭

日 11月5日(日) 10:00~14:00
場 本館(熊本市中央区段山本町)
内 キッチンカー、ゲームコーナー、
みの市、ステージ発表など
問 Tel 096-353-6391(音声ガイダンス[1])



阿蘇まつり

日 11月11日(土) 12:00~14:30
場 黒川保育園(阿蘇市黒川)
内 キッチンカー、ゲームコーナー、
みの市、園児によるステージ発表など
問 Tel 0967-32-0213(尾ヶ石保育園)

わいわいフェスタ

日 11月23日(木・祝) 11:00~13:30
場 熊本五福幼稚園(熊本市中央区魚屋町)
内 リュースバザー、ゲームなど
問 Tel 096-352-2981

※各プログラムの時間はお問合せください

市民クリスマス2023
加藤麻衣子
パイプオルガンコンサート

熊本県出身オルガニスト加藤麻衣子さんを招いたコンサートを開催します。益金は熊本豪雨被災者復興支援やウクライナ支援などの寄付として用いられます。

日 12月9日(土) 13:30開場 14:00開演
場 日本基督教団 熊本白川教会(熊本市中央区九品寺2-2-44) 特別出演 九州ルーテル学院大学聖歌隊 費 1,000円(全席自由 高校生以上)
チケット取扱 熊本YMCA各施設
催 市民クリスマス2023実行委員会
問 熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393

障がいの有無にかかわらず
幸せに生きていける社会を
インターナショナル・チャリティーラン

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちがともに幸せに生きていける社会を目指して、全国の21のYMCAで開催。今年の熊本大会は、期間中に行ったラン・ウォーク等の距離をオンラインで申告し、総合距離2,023kmを目指します。※益金は、YMCAのチャレンジド支援プログラムに用いられます。

オープニングラン

日 11月26日(日) 10:00~12:30
場 益城町総合運動公園

リモートでの距離申告

日 11月26日(日)~12月3日(日) 費 個人(小学生以下) 500円/個人(中学生以上) 2,000円/ファミリー 1家族 3,000円/チーム(5~10名) 10,000円他 ※お申込みはWebで。
問 熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397

優勝おめでとう!
熊本県専修学校各種学校連合会体育大会

9月16日(土)から行われた「熊本県専修学校各種学校連合会体育大会」に、熊本YMCA学院が参加し、バドミントン団体及び、卓球個人で優勝という成績を収めました。おめでとうございます。



▲バドミントン団体に出場した建築科1年生たち
卓球個人で優勝した健康スポーツ科1年の榎嶋直樹さん▶

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

YMCA

年末募金

こども 若者 国際協力

出会いとつながりを大切に
これからも希望のあるより豊かな社会をつくれます。



募金の使途

こどもたちの支援

BAPY基金(参加費減免制度)★
福祉キャンプ 地域支援活動

学生・留学生の支援

健康・福祉支援

ボランティアリーダーの育成

国際協力

BAPY基金(参加費減免制度) “BE A PARTNER OF THE YOUTH”

公益財団法人熊本YMCAはすべての子どもたちがYMCAのプログラムに参加できるように、BAPY基金(参加費減免制度)を設けています。

ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに、経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部または全額を減免します。申込み・お問い合わせは各センター長まで。

参加できるプログラム



通年プログラム

スポーツスクール・野外活動・キャンプ・英語スクール・アフタースクール・各種講座など

季節プログラム

短期講習会・キャンプ(春期・夏期・冬期)など

その他

発達障がい児支援プログラム、YMCAが行う諸行事
※詳細はお問い合わせください

Voice

BAPY基金利用者の声

水泳教室参加者(小学5年生)の保護者より



娘は年中の頃から水泳を始めました。当時は顔を水につけることすら怖がっていました。そこから50m、100mと泳げるようになったのは、毎週楽しんでYMCAに通えているからだと思います。軽度の知的障がいがありますが、YMCAでは他校のお友だちとも仲良くすることができ、日常以外でのふれあいが大きな刺激となって、成長の手助けとなっていると感じています。周りと比較せず本人のペースでじっくり教えていただき、感謝しています。昨年は街頭募金活動へも参加しました。良い経験になったようです。募金に協力してくださっている皆さんのおかげでYMCAに通えています。ありがとうございます。

BAPYとは

“BE A PARTNER OF THE YOUTH”の略で「青少年のパートナーになろう」という意味を表し、皆様からの尊いご寄付によって支えられています。利用をご希望の方は各拠点の窓口でお問合せください。

募金の方法

1 持参

お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。

2 お振込み・クレジットカード

郵便振替や銀行振込、クレジットカードで受け付けています。

お振込み先等はWebサイトを
ご確認ください。



3 街頭募金

県内各地で街頭募金を実施します。会場・スケジュールはWebサイトでご案内します。



4 行事への参加

12月9日(土)には市民クリスマスを開催(3面に関連情報)。各チャリティ行事も工夫をしながら新たなチャレンジをしていきます。

5 募金箱の設置

設置可能なお店等がありましたら、お申し出ください。



YMCA年末募金

【期間】2023年11月1日～2024年1月31日
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金



発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人／光永 尚生 編集人／大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2023年度基本聖句

マタイによる福音書 7章7節

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。